



公益社団法人 自動車技術会 関東支部学生自動車研究会

第 4 回 学自研学生委員会 議事録

2020 年 7 月 28 日

文責：日本大学 柳井

1. 概要

日 時：2020 年 7 月 25 日（土）13:00~15:00

場 所：自動車技術会 本部・事務局 第一会議室(4F)

参加者：神奈川工科大学 飯島, 大津

関東学院大学 仲田, 中山, 山下

中央大学 後藤,

東京電機大学 小林, 橋本

東京農工大学 矢田

日大理工 伊藤, 尾野, 榎本, 柳井

理事 岡部, 川上, 馬場, 鈴木, 保田

OP 中山, 小舟

関東支部 市原

(大学名 50 音順・敬称略)

2. 配布資料

- ・【事前資料】2020 年度第 4 回学自研学生委員会 事前資料
- ・【事前資料】自動車部品メーカー見学会 アンケート結果
- ・【事前資料】日本自動車研究所企画案

3. 議題

3.1 会計状況についての報告（鈴木）

- ・先月分の使用が約 9800 円.
- ・新型コロナウイルスの影響で例年より残金が多くなっている.
- ・会計担当が委員会の場に居ないので橋本委員長が各委員の交通費の情報を収集した.

3.2 Web の更新状況の報告（広報担当：尾野）

- ・前回の委員会の議事録を WEB 掲載した.

3.4 企画進捗状況について

3.4.1 トヨタカスタマイジング&ディベロップメント見学会



応募は定員の 20 名を大きく超えて約 40 名の応募が来た。
基本的には希望者全員を受け入れる方針である。
応募者に向けてはコロナ対策を踏まえて今後資料を展開していく予定である。

<意見・質問>

・交通手段は当初選択できたが企画の案内メールに車はご遠慮くださいと記載してあった。車での企画参加について教えてほしい。
→車での参加はコインパーキングで車の駐車をしてもらえば可能である。

・参加に際してはガイドラインを徹底するように参加者に周知すること。また TRD 側からの注意も確認しておく。

・万全を期すために参加者は企画当日 2 週間前の期間は不要不急の外出を控える。

・TRD 側からも企画参加者の状態によって参加を遠慮してもらう場合があると話を受けている。

・参加者は車で参加の場合、事故に気をつけること。どんな些細なことでも事故の場合は委員会メンバーであるかを問わず事務局まで報告をする。

3.4.2 日本自動車研究所見学会

見学内容については今後意見を募り決定する。
開催時期等については今後の状況を踏まえ決定してゆく。

<意見・質問>

・JARI は研究分野が広く見学できる範囲は限られるため、見学施設や分野の順位付けを行う必要がある。

・現状で委員会メンバーは JARI のどの分野に興味があるのかアンケートをとってみてはどうだろうか。

・過去 5 年間 JARI での見学会は実現していない為、早めの準備が必要。

4.1 新企画について

4.1.1 四輪研修

開催は可能であるが 11 月開催は厳しくそれ以降の開催になってしまう。
今後メールで再度参加に関しての意見を募り、改めて開催を行うか考える。
開催する場合は開催が決まり次第担当者を決定する。



<意見>

・開催したい人は毎年 5,6 名いるが最小人数が 20 名越えなので企画開催が難しくなっている。そこで学自研企画としてではなくメンバー個人で参加する形式にしてみてもどうか。

・この企画内容は良い意味で値段に見合っていない豪華な内容である。金額に焦点を当てず、純粋なメリットに目を向けることも大切では。

・参加者からはスキット走行などの普段行えないような貴重な体験もでき、研修内容はプロが受ける内容さながらであるという体験談が挙げられた。

・委員会時点で参加者を募った際はだれも手を挙げなかった。

・フォーミュラの人たちや TRD 参加者にもメールなどで企画についての展開を行ってみてもどうか。

5. 自動車部品メーカー見学について

見たい企業や分野、講演会の議題についてアンケートを展開した結果ばらつきが見られた。

日立オートモティブシステムズ様から学生が興味を持った製品について展開できるというお話があった。

現在はいけそうな企業に対して調整を進めている。今後はいけそうな企業を選定しメールにて展開してゆく予定。

<意見>

なし

6. 国際交流について

2020 年度の台湾派遣は中止する。

タイへの学生派遣と 3 月のタイ学生派遣の詳細については現在調整中である。

タイへの学生派遣の募集は例年通り一か月の期間を設ける予定である。

参加人数の縮小や期間の調節を行う可能性がある。詳細は 9 月末に案内予定である。

来月の委員会において国際交流担当学生が企画提案を行い、国際交流企画を作っていく。

<意見>

・国をまたいだ移動については厳しい規制が設けられているため、今年の対面での国際交流が難しくなりそうである。オンラインをうまく駆使して本来の国際交流の目的を損なわない形での開催について話し合う必要がある。

・オンラインでの英語を使用した国際交流はそれなりの困難が予測される。



・企業様との調整はとても難しいがバーチャル工場見学などのオンライン形式での企画立案は今年度以降の企画にも役立つと思われるので有意義である。

7. 諸連絡

次回から委員会の最後に、委員からやりたいことを聞く時間を作りたいという意見が挙がった。

また以下のような議題が上がった。

<意見>

新型コロナウイルスの影響で企画などの縮小などが相次ぐ中、コロナ禍の今だからこそ企画・立案できることが自動車分野に限らず何でもよいのでないだろうか。

- ・eスポーツ大会ができるかも
- ・レンタルカートを余った予算でできるかも
- ・旅客機の工場見学
- ・船の風洞施設見学
- ・米原でのJRの開発施設見学
- ・宇宙関連の見学
- ・東芝府中工場の見学

8. 次回第5回委員会

日時：2020年8月29日（土）13:00~15:00

場所：未定（大学はほとんどが部外者入構禁止になっているため）

以上